



御市建第 100 号
平成 19 年 4 月 26 日

国土交通省道路局長 宮田 年耕 様

御所市長 前川 正



中期的な計画の作成にあたっての意見について(回答)

このことについて、平成 19 年 4 月 2 日付国道企 114 号で依頼のあった件について、下記のとおり回答します。

記

道路特定財源の見直しに関する具体策(平成 18 年 12 月 8 日閣議決定)に基づき中期計画が作成されることについて、今後の道路政策や道路の整備・管理について、意見を述べます。

1. 今後の道路政策について

- (1) 我が国の競争力、成長力の確保や地域の活性化のため必要な道路整備を進めることは、重要な課題であるので道路整備に対するニーズを踏まえ、真に必要な道路整備を計画的に進めて頂きたい。

特に少子高齢化・人口減少により、地方が深刻な状況にあり、地域社会を支えるため、医療等のサービスを広域的に共有できる連携、交流基盤を進めて頂きたい。

また、都市圏環状道路整備についても集中的にスピード感をもった道路路行政、特に埋蔵文化財調査の迅速化への転換を推進して頂きたい。

1. 今後の道路の整備・管理について

- (1) 地域間格差への対応や生活者重視を踏まえつつ、地方の活性化や自立に必要な地域の広域的アクセスの強化など地域の自主性にも配慮しながら、適切な措置をお願いしたい。
- (2) 既存道路ストックが急速に高齢化する割合が増加する事から、計画管理に必要な道路ストックの健全度の把握に努められ、また自治体管理ストックの長寿化を図るため、長寿化修繕計画の策定の支援を検討して頂きたい。

以上